

帯広第一病院総合内科在宅ワークステーション

『たなごころ』の立ち上げに際して

帯広第一病院 総合内科
科長 酒井 俊

平成23年7月1日より当科では在宅ワークステーション『たなごころ』を開設致しました。

近年、医療が細分化・専門化することによって、私たちは早期診断率の向上や治癒率の上昇などの恩恵を受けてきました。しかしその一方、専門的医療の狭間で行き場所を失ったり、終末期を向かえて急性期医療からはずれ、病棟の片隅で孤独感に苛まれた患者さんが増加していることもまた事実です。

なるべく自宅で御家族と一緒に時を過ごしたい、でもきちんと適切な医療を受けたい・・・患者さんのこうした御希望に少しでも沿いたい、これが私達のワークステーション立ち上げの原点です。

『たなごころ』とは文字通り、人の手のひらです。温かい手のひらで触れられたときのぬくもりはなんとも心地よいものです。病棟回診の際、患者さんの腕にそっと手を添えると、ふっと表情が和むことがよくあります。また『たなごころ』には悩める人々を受け止める受け皿という意味もあります。

訪問診療・看護を開始するに当たって、当ワークステーションではこの『たなごころ』の持つあたたかい感覚をいかに患者さんに伝えていくかを理念とし、活動して行きたいと思えます。